

「東アジアの成長と福井県」データ集

(東アジアの現状、本県と東アジアの関わり)

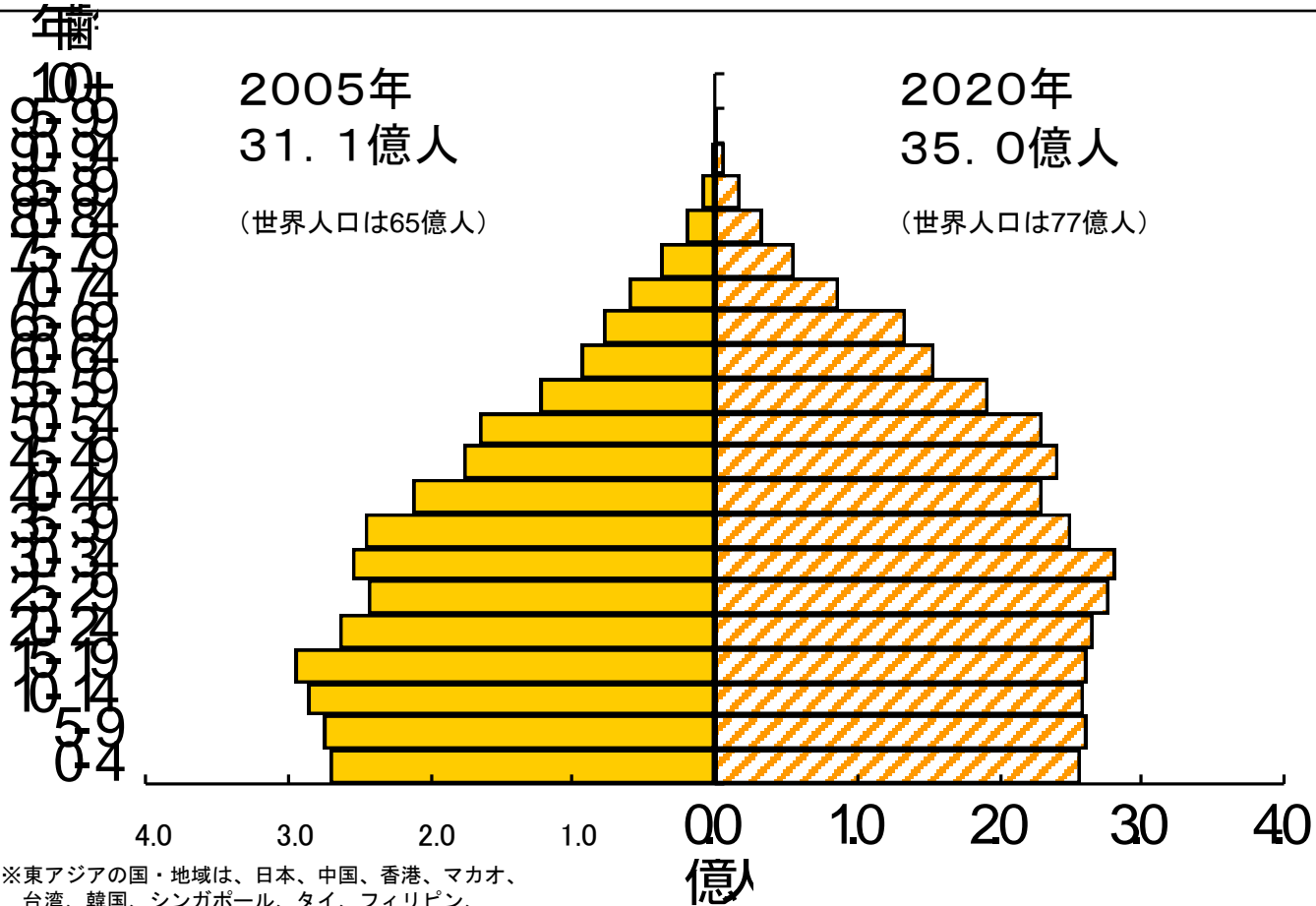
21.11.30

第1回将来ビジョン検討会議

◆東アジアの現状

東アジアの人口ピラミッドの変化（2005－2020）

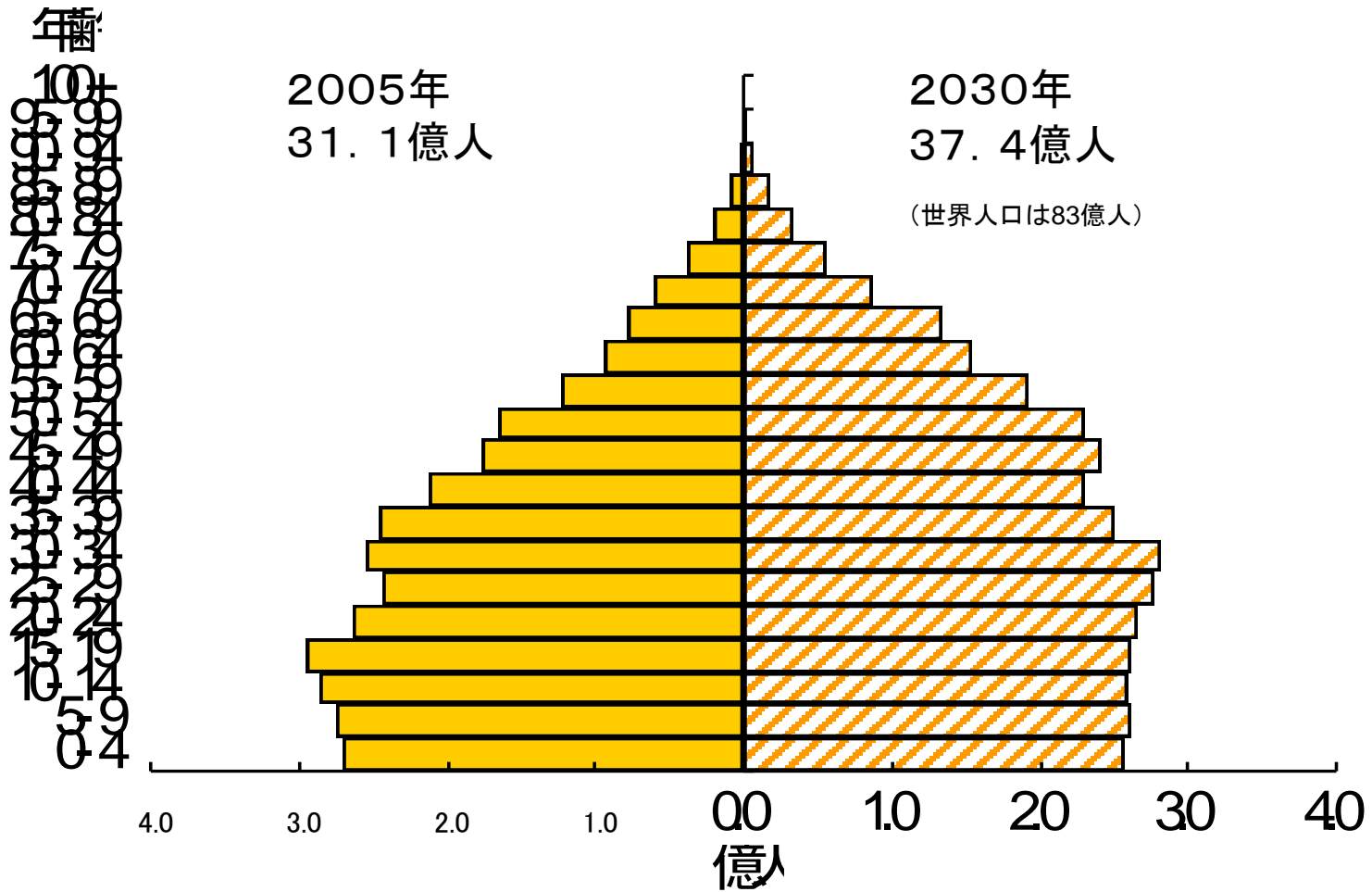
東アジアの人口は今後も増加。2020年には35億人、2030年には37.1億人となり、2005年に比べ6億人（19.3%）増加。 ※世界人口に占める割合は45%前後で推移



※東アジアの国・地域は、日本、中国、香港、マカオ、台湾、韓国、シンガポール、タイ、フィリピン、インドネシア、マレーシア、ベトナム、インドとする。

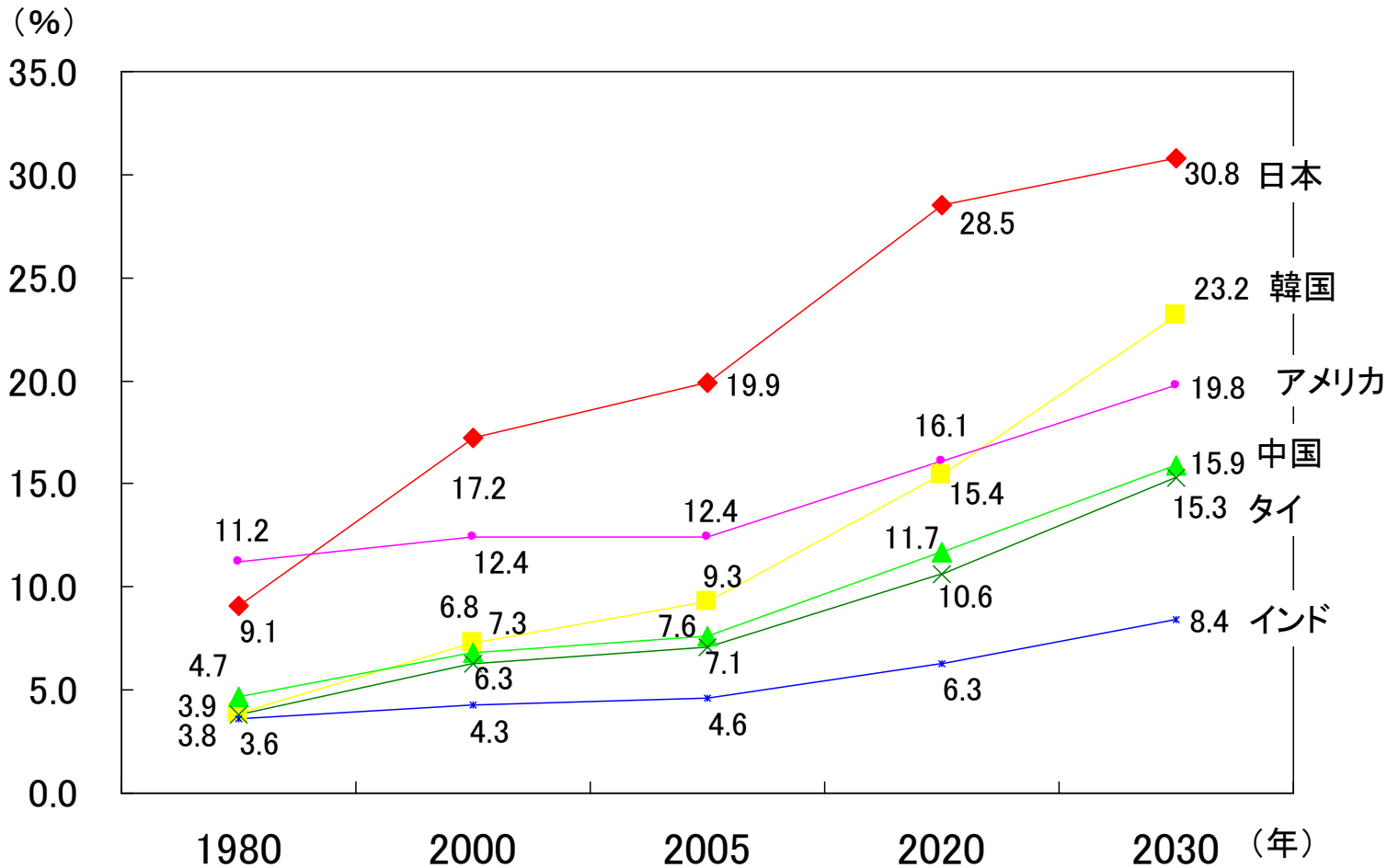
出典：United Nations, World Population Prospects: The 2008 Revision

東アジアの人口ピラミッドの変化（2005-2030）



出典：United Nations, World Population Prospects: The 2008 Revision

アジア各国の高齢化率の推移と予測



出典 : United Nations, World Population Prospects: The 2008 Revision

人口増加率・高齢化率

今後、東アジア各国は急速に高齢化社会を迎える。

2020年には東アジアの高齢者は約3.4億人になると予測。2005年の約2.1億人に比べ、約1.3億人(62%)増加。

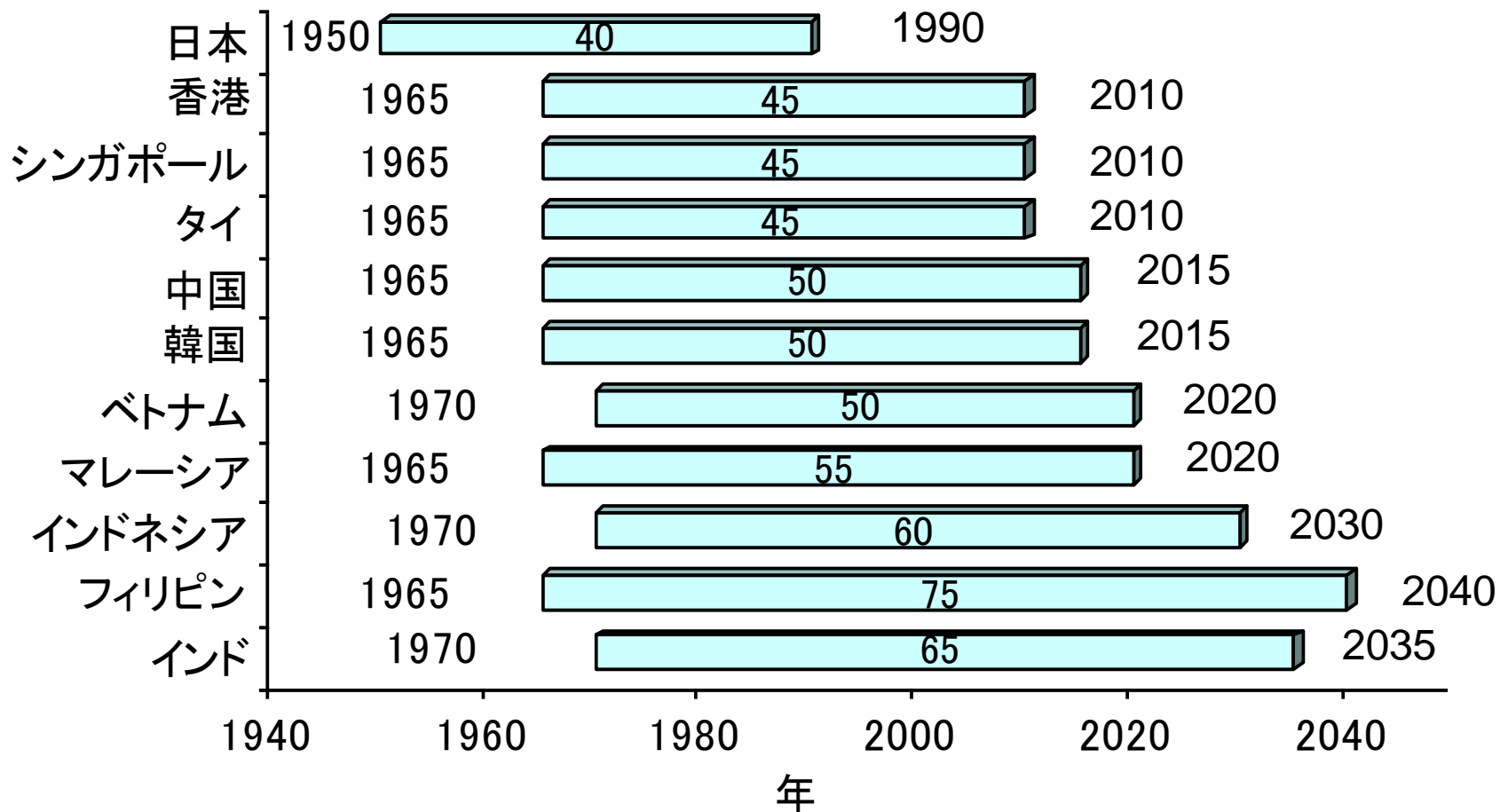
	年平均 人口増加率 (%)	年平均 人口増加率 (%)	高齢化率 (%)				
			2010~2020	2010~2030	1980	2000	2005
日 本	-0.26	-0.38	9.1	17.2	19.9	28.5	30.8
NIES							
韓 国	0.20	0.07	3.9	7.3	9.3	15.4	23.2
台 湾					9.6		
香 港	0.89	0.79	6.5	11.0	12.2	18.0	26.3
シンガポール	0.79	0.64	4.7	7.2	8.5	17.9	27.5
中 国	0.57	0.4	4.7	6.8	7.6	11.7	15.9
A S E A N 4							
タ イ	0.48	0.39	3.8	6.3	7.1	10.6	15.3
マレーシア	1.47	1.32	3.7	3.9	4.4	7.1	10.4
インドネシア	0.93	0.84	3.5	4.9	5.5	7.5	10.7
フィリピン	1.72	1.64	3.2	3.5	3.9	5.7	7.6
ベトナム	1.01	0.92	4.8	5.6	6.2	10.9	12.4
インド	1.26	1.11	3.6	4.3	4.6	6.3	8.4
ロシア	-0.35	-0.41	10.2	12.4	13.8	15.4	19.4
USA	0.90	0.82	11.2	12.4	12.4	16.1	19.8
世 界	1.11	1.01	5.9	6.8	7.3	9.3	11.7

出典 : United Nations, World Population Prospects: The 2008 Revision

東アジア諸国の人口ボーナスの時期

○人口ボーナス…生産年齢人口の割合の高さが
経済発展を後押しする作用

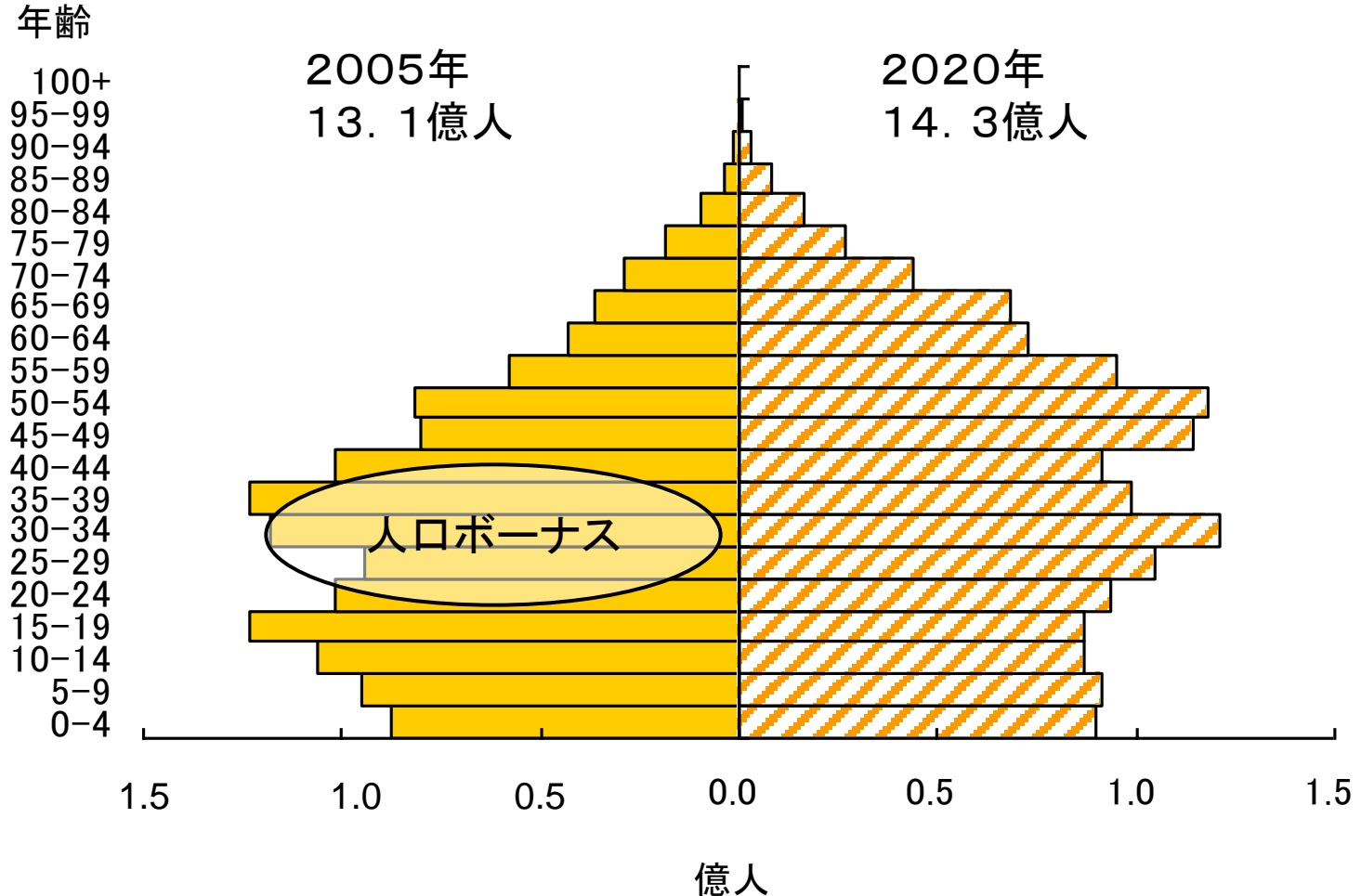
○人口ボーナスの終点
日本:1990~1995年(バブル崩壊の時期とほぼ一致)
韓国・台湾などのNIES、中国、タイ:2010~2015年



出典：小峰隆夫「超長期予測 老いるアジア」資料：United Nations, World Population Prospects: The 2004 Revision

中国の人口ピラミッドの変化（2005-2020）

中国の人口ボーナスは、2010～2015年に終期を迎える。
 しかし、巨額の外資流入に加え、農村部の過剰労働力を効果的に吸収することにより、この期間を超えて人口ボーナスの効果を享受できる可能性もある。（2007.5 日本総研 アジア・マンスリー）



出典：United Nations, World Population Prospects: The 2008 Revision

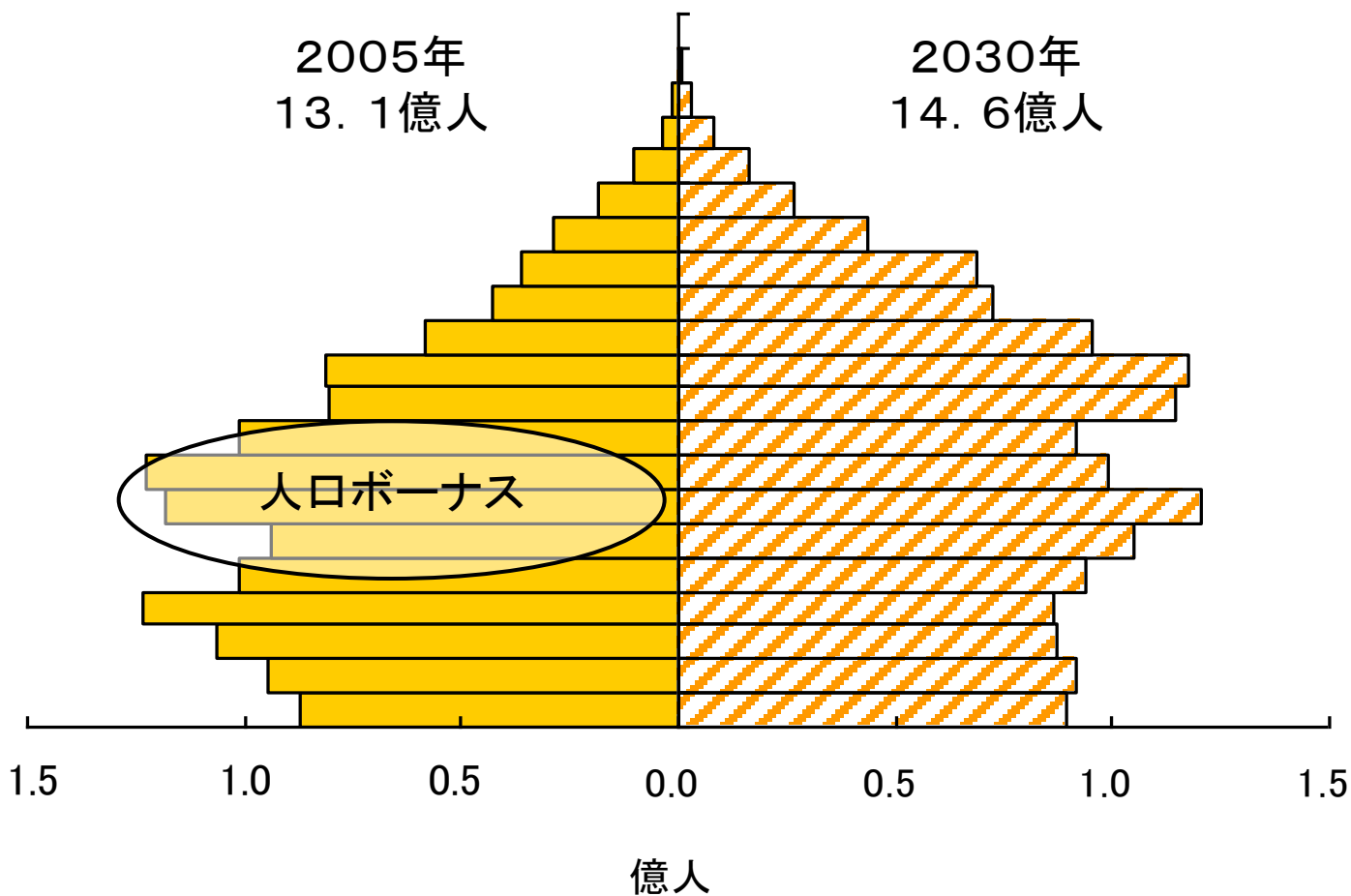
中国の人口ピラミッドの変化（2005-2030）

年齢

100+
95-99
90-94
85-89
80-84
75-79
70-74
65-69
60-64
55-59
50-54
45-49
40-44
35-39
30-34
25-29
20-24
15-19
10-14
5-9
0-4

2005年
13.1億人

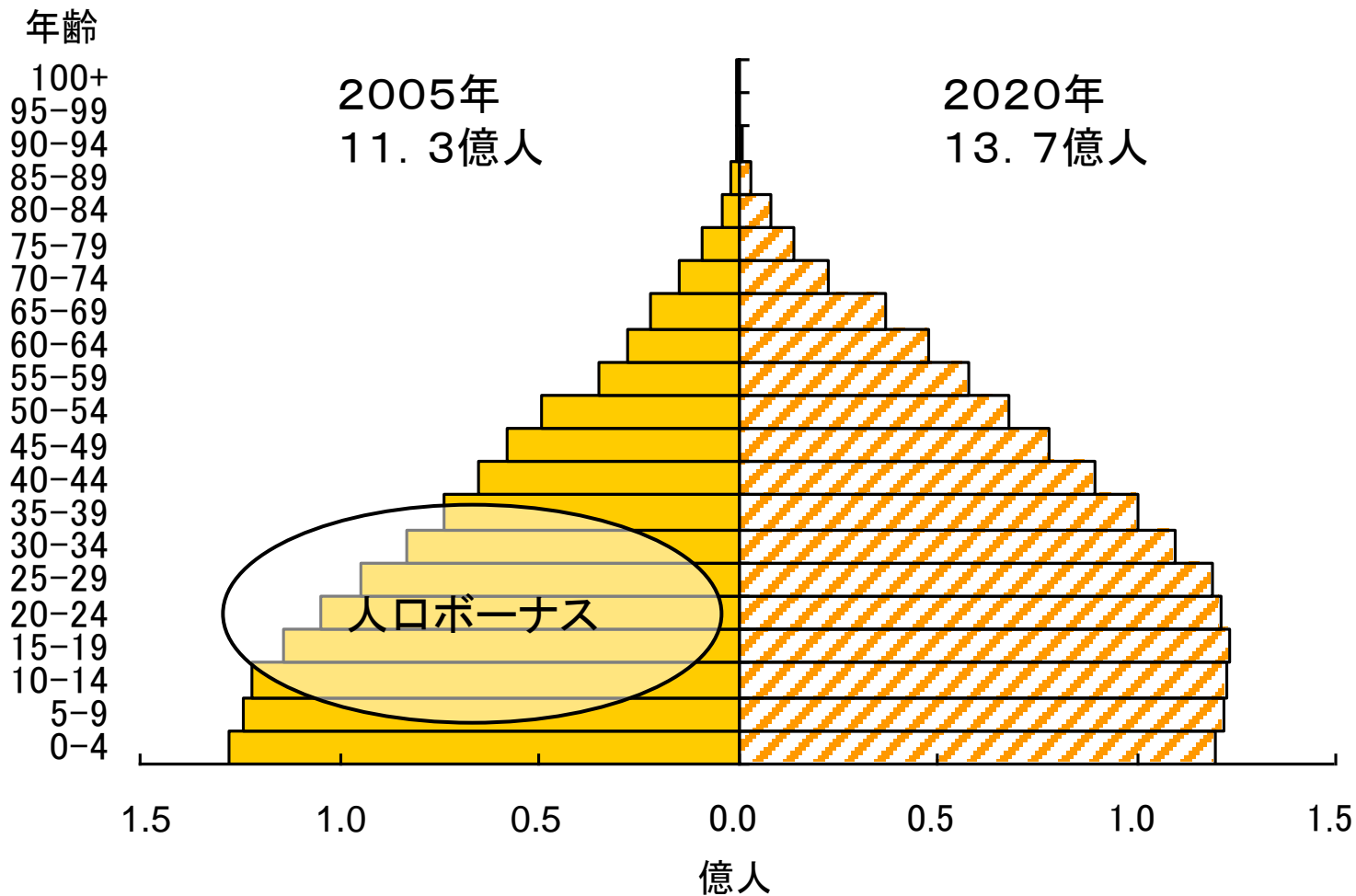
2030年
14.6億人



出典 : United Nations, World Population Prospects: The 2008 Revision

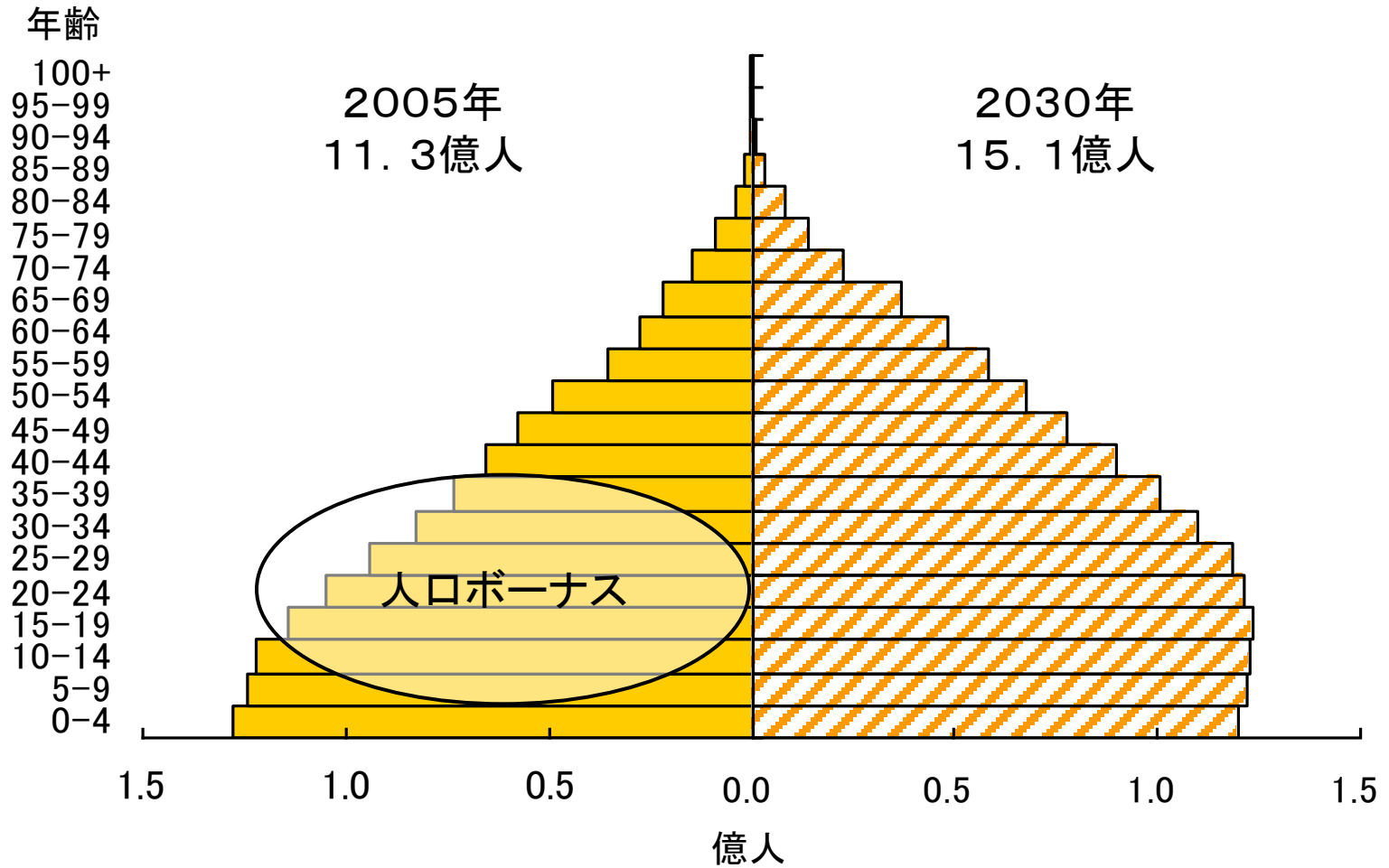
インドの人口ピラミッドの変化（2005-2020）

インドの人口は、2030年には15億人を突破し、世界第1位になる見通し。
人口ボーナスによる内需の拡大で、益々経済が発展することが予測。



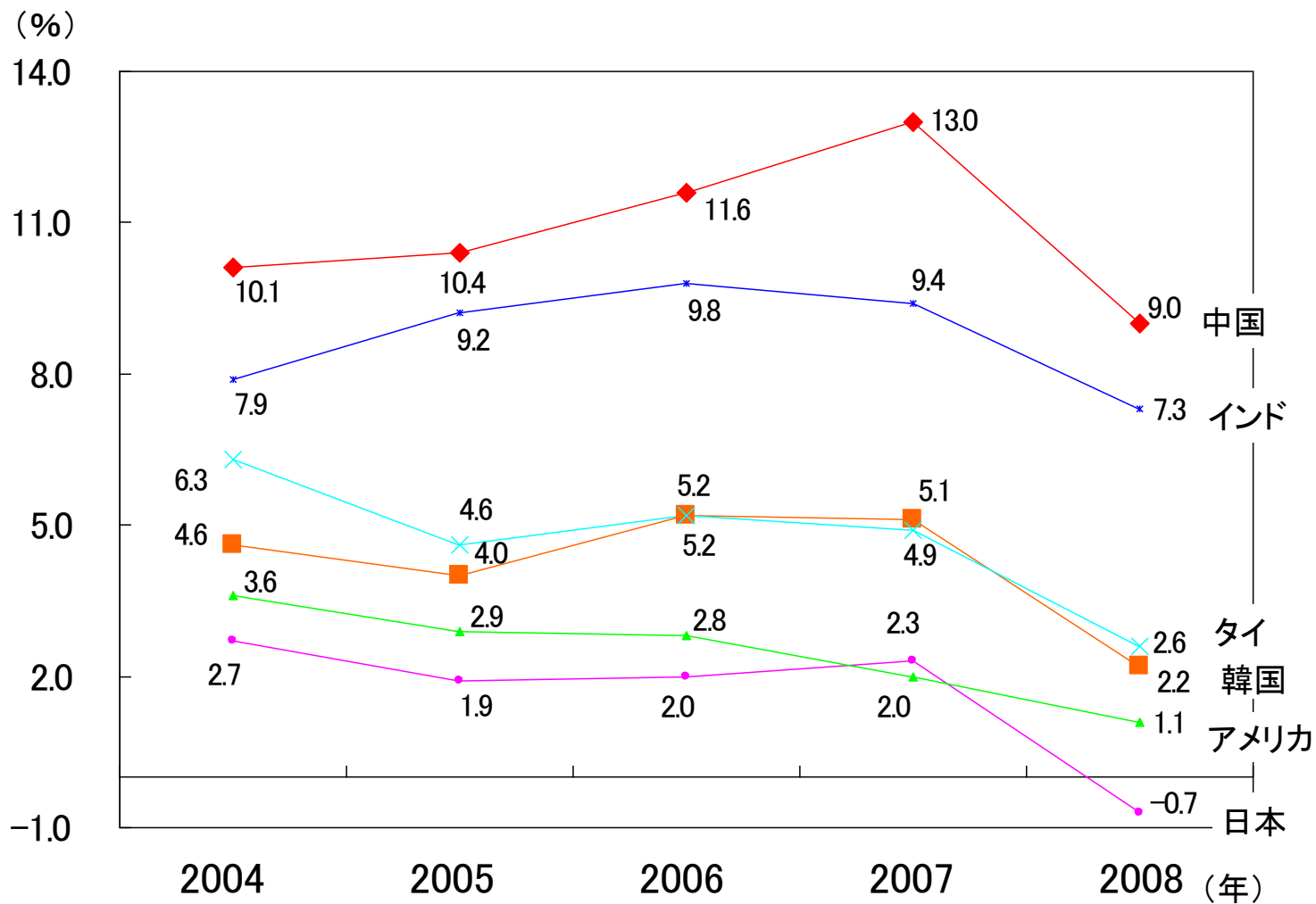
出典：United Nations, World Population Prospects: The 2008 Revision

インドの人口ピラミッドの変化（2005-2030）



出典：United Nations, World Population Prospects: The 2008 Revision

主な東アジア諸国のGDP成長率（1）



出典：ジェトロ、IMF資料

主な東アジア諸国のGDP成長率（2）

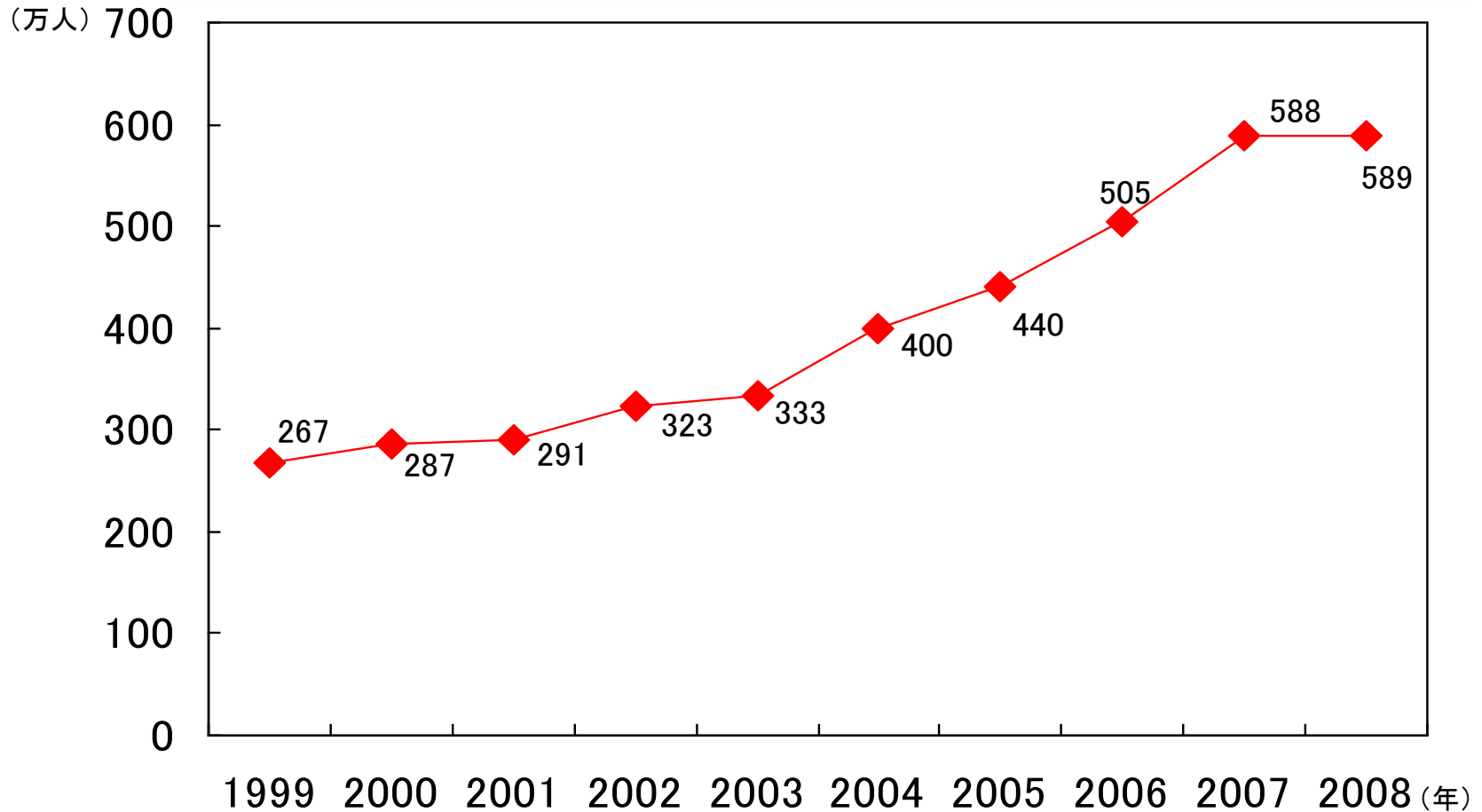
東アジア諸国のGDPは高成長を維持。特に、中国、インド、ベトナムの成長が顕著。

	GDP成長率の推移（%）					
	2004	2005	2006	2007	2008	平均 (2004～2008)
中国	10.1	10.4	11.6	13.0	9.0	10.8
台湾	6.2	4.2	4.8	5.7	0.1	4.2
韓国	4.6	4.0	5.2	5.1	2.2	4.2
タイ	6.3	4.6	5.2	4.9	2.6	4.7
インドネシア	5.0	5.7	5.5	6.3	6.1	5.7
ベトナム	7.8	8.4	8.2	8.5	6.2	7.8
インド	7.9	9.2	9.8	9.4	7.3	8.7
日本	2.7	1.9	2.0	2.3	-0.7	1.6
アメリカ	3.6	2.9	2.8	2.0	1.1	2.4
EU	2.6	2.2	3.4	3.1	1.1	2.4
ロシア	7.2	6.4	7.7	8.1	5.6	7.0

出典：ジェトロ、IMF資料

東アジアからの観光客の推移

東アジアからの訪日旅行者数は年々増加し、全訪日旅行者数の4分の3（73.7%）を占める。（2008）
※総数835万人



※本表では、中国、香港、台湾、韓国、タイ、シンガポール、フィリピン、マレーシア分を集計した。

出典：観光庁「平成21年版 観光白書」

東アジアと日本の貿易額の推移

東アジアとの貿易額は、90年代後半の一時期を除き増加傾向。全体の45%を占める。(2008年)
 ・我が国の貿易総額約160兆円のうち72兆円を占め、東アジアは日本最大の貿易相手。
 ・中国は2007年から日本最大の貿易相手国。(27.8兆円、総額の17.4%)

(億円)

800,000

700,000

600,000

500,000

400,000

300,000

200,000

100,000

0

	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008
□ 輸入	115,661	142,251	151,632	135,884	139,703	170,627	179,871	183,584	197,268	222,242	252,787	293,601	315,639	320,339
■ 輸出	180,813	196,848	213,800	175,603	176,942	212,542	197,322	224,387	253,183	296,368	317,956	357,757	404,001	399,662
— 総合計	296,474	339,100	365,432	311,487	316,645	383,169	377,193	407,971	450,451	518,610	570,743	651,358	719,640	720,001

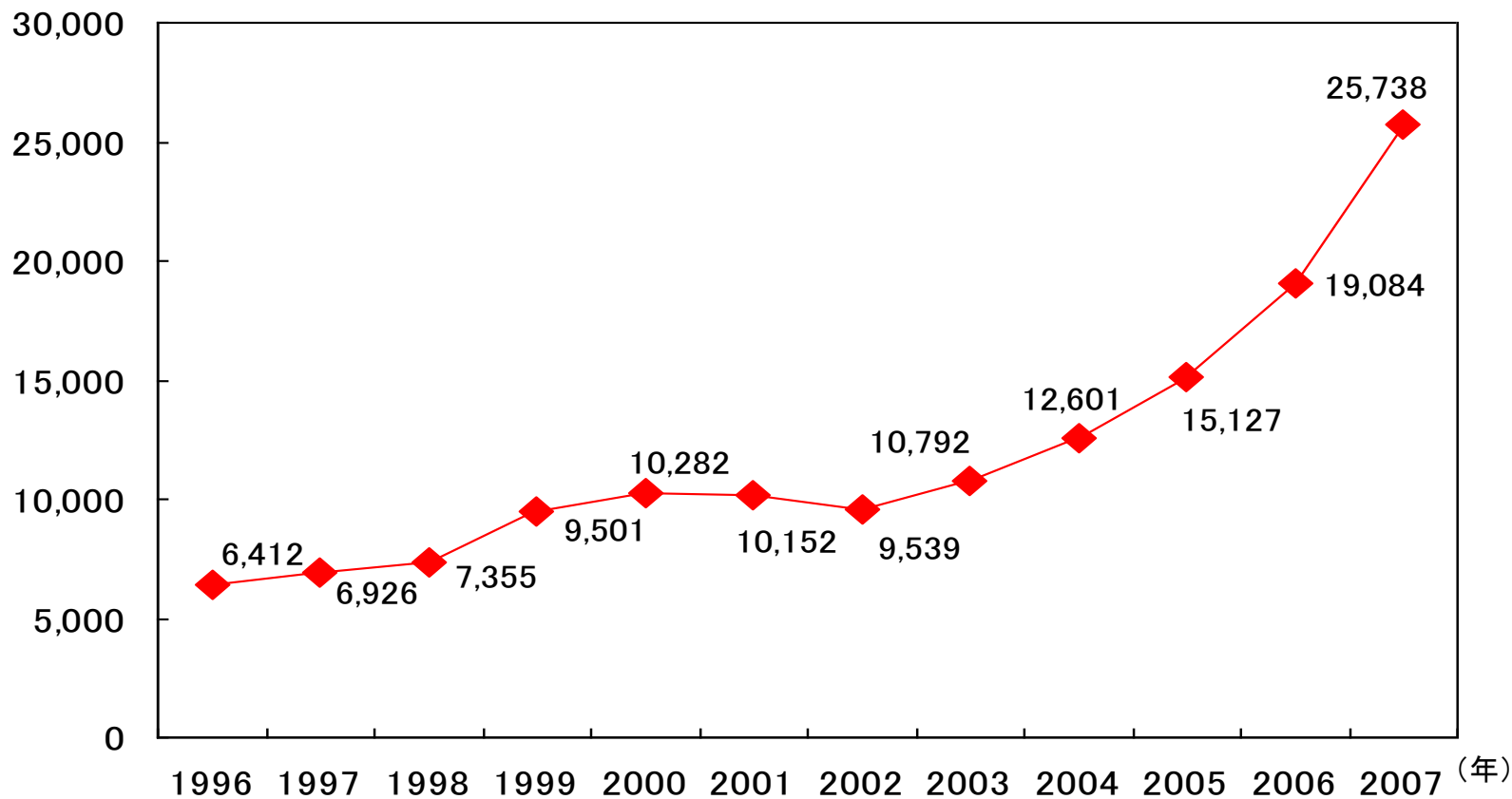
(億円)

出典：財務省「貿易統計」

東アジアからの対日直接投資残高の推移

東アジアからの対日直接投資残高は、2003年以降、年々増加。1997年からの10年間で約3.7倍の約2兆6千億ドル。これは、世界全体の対日投資残高の1/6を占める。

(億ドル)



出典：UNCTAD World Investment Report
経済産業省「通商白書2009」

投資先都道府県別 東アジアからの対日投資件数

東アジアからの対日投資は東京都に集中。中でも韓国（24件）やシンガポール（23件）からの投資が多い。

	2006	2007	2008	計	備 考
北海道		2		2	韓国（1）、香港（1）
埼玉県		2		2	韓国（2）
東京都	18	30	18	66	シンガポール（19）、韓国（16）、香港（13）、中国（5）、台湾（4）、タイ（3）、マレーシア（3）、インド（2）、ブルネイ（1）
神奈川県	3	2	1	7	台湾（4）、中国（1）、香港（1）、シンガポール（1）
新潟県			1	1	韓国
長野県	1	1	2	4	中国（2）、シンガポール（1）、香港（1）
静岡県		1		1	中国
大阪府	3	5	2	10	中国（3）、シンガポール（2）、インド（2） 韓国（1）、台湾（1）、香港（1）
岡山県			1	1	韓国
福岡県			1	1	韓国
長崎県	2			2	韓国
宮崎県		1		1	香港
合 計	27	44	26	97	

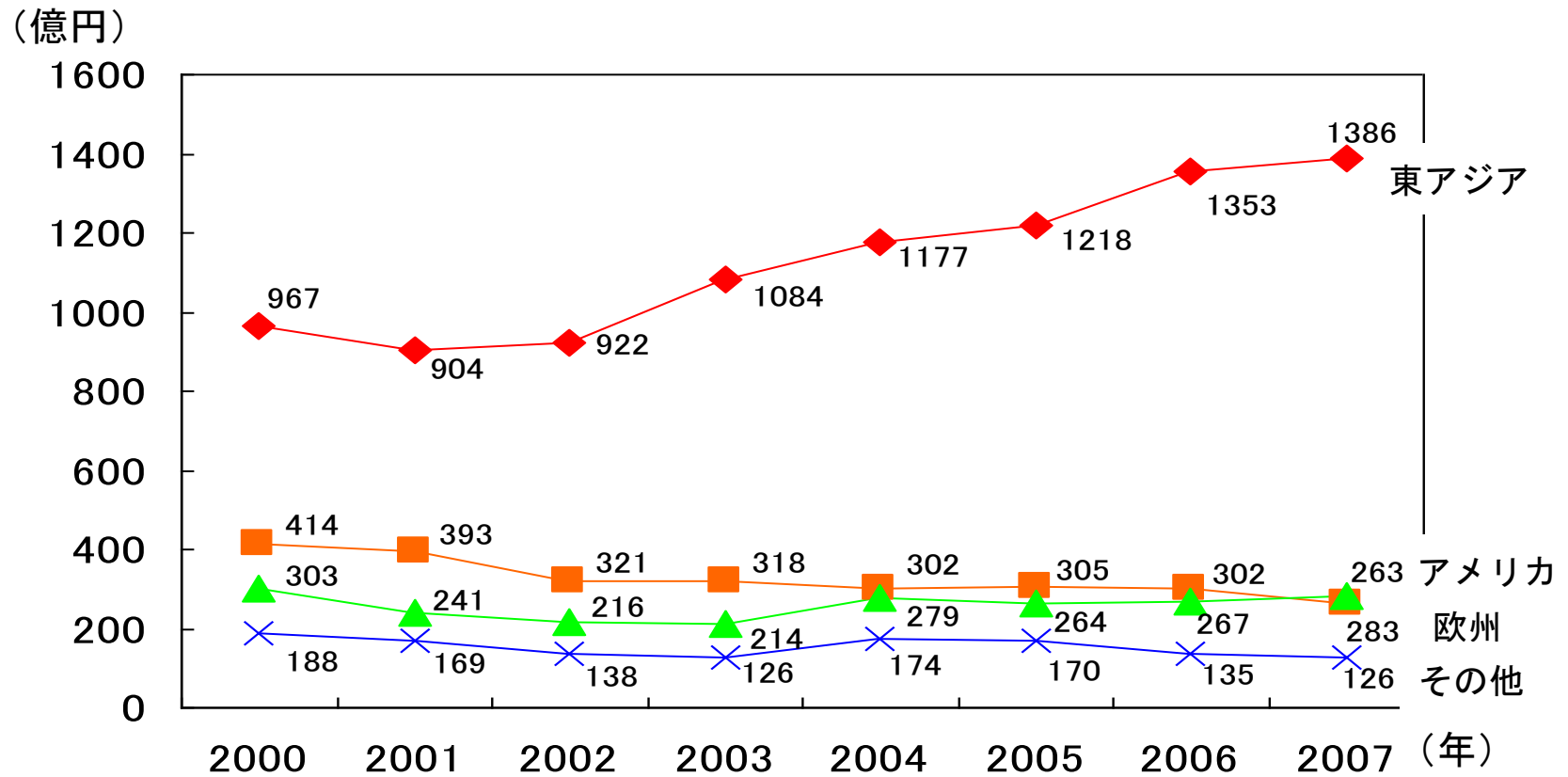
※投資…対日本企業へのM&A、対外国企業日本法人へのM&A、日本法人の新設

出典：内閣府「直近の対日投資企業の動向に関する調査研究 報告書」

◆福井県と東アジアの関わり

福井県の輸出額の推移

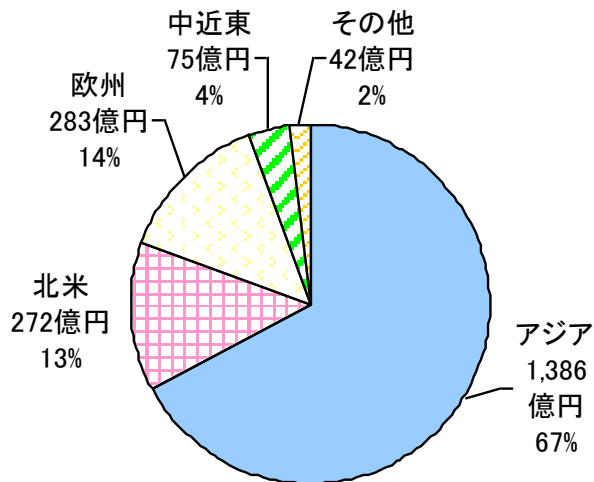
福井県の輸出額は、東アジア向けが年々増加。輸出総額2058億円の3分の2（67.3%の1386億円）を占める。（2007年）
 中でも、中国は東アジア全体の約5割（48%の662億円）を占める。（2007年）



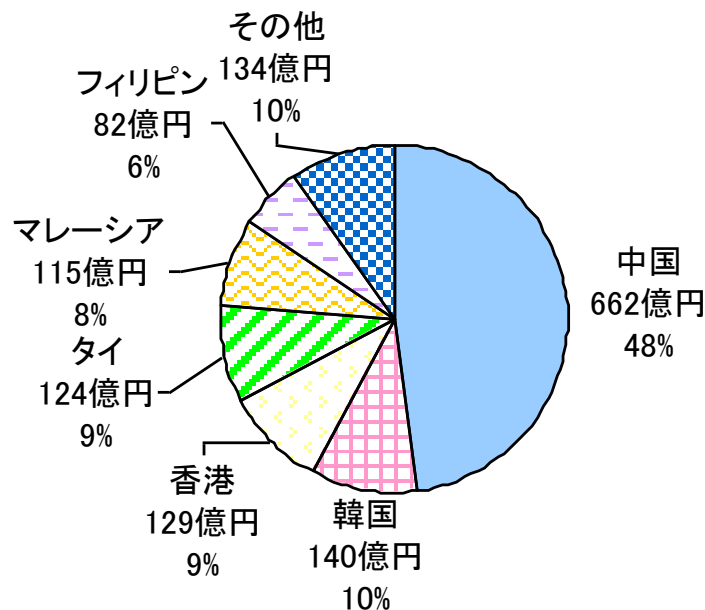
出典：福井県「福井県の貿易」

県内企業の輸出状況

県内企業の地域（国）別輸出額
および割合（2007年）2,058億円



県内企業のアジア地域への国別輸出額
および割合（2007年）1,386億円



品目別輸出額（2007年）

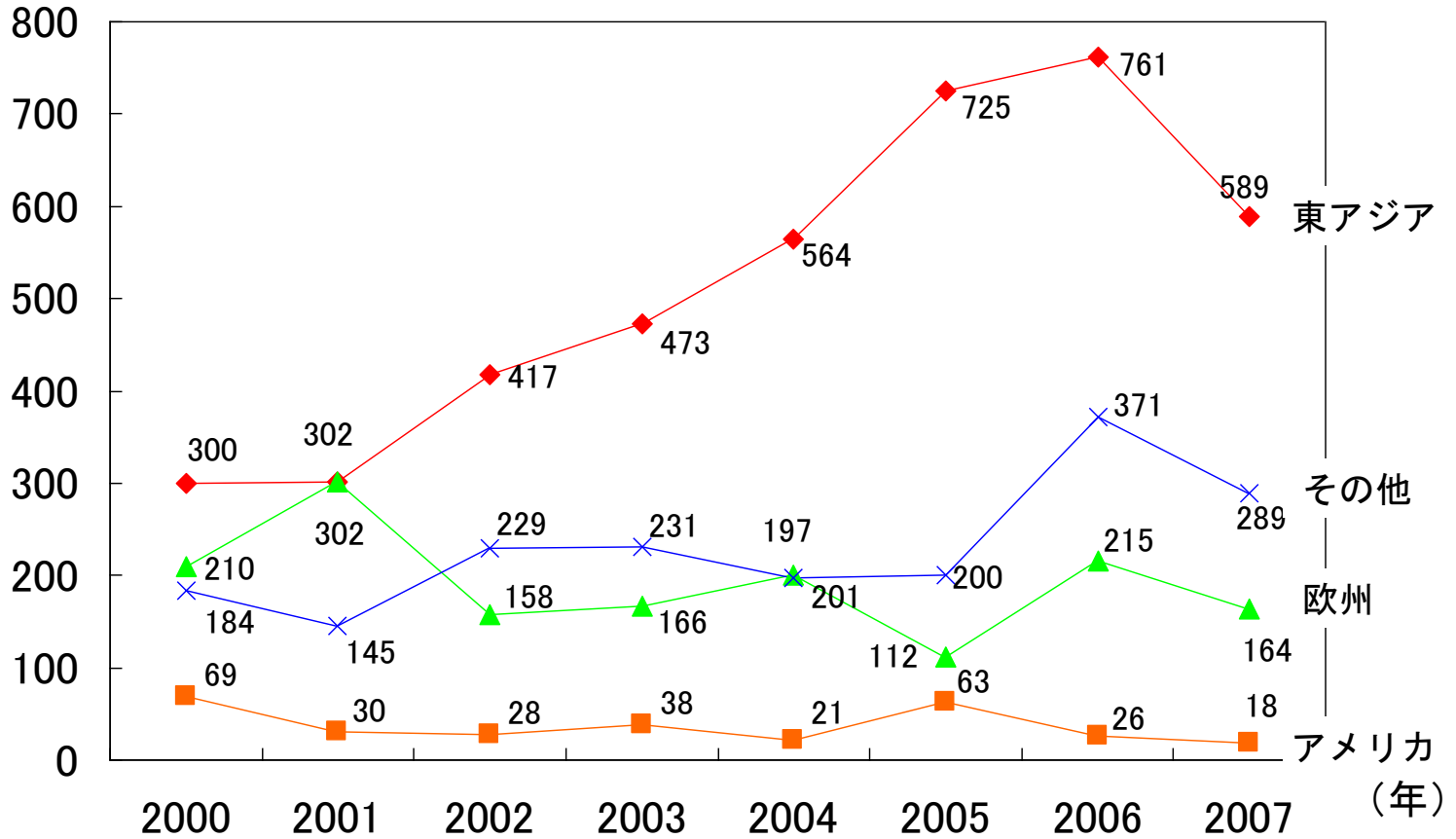
品目	項目	輸出額（億円）	構成比（%）	主な仕向け地および輸出額（億円）
繊維		674	32.8	①中国334 ②香港76 ③アラブ首長国連邦37 ④韓国30 ⑤ベトナム19
機械	（輸送機械除く）	562	27.3	①中国140 ②米国94 ③マレーシア89
眼鏡		257	12.5	①米国94 ②ドイツ48 ③香港20 ④韓国19 ⑤フランス14
化学		287	14.0	①中国125 ②韓国49 ③タイ25
（小計）		1,780	86.6	※アジアの国・地域は、中国、香港、マカオ、台湾、韓国、シンガポール、タイ、フィリピン、インドネシア、マレーシア、ベトナム、インドとする。
その他		278	13.4	
合計額		2,058	100	

出典：福井県「福井県の貿易」

福井県の輸入額の推移

福井県の輸入相手は、東アジアが全体の56%を占め、中国が東アジアの72%（424億円）を占める。（2007年）

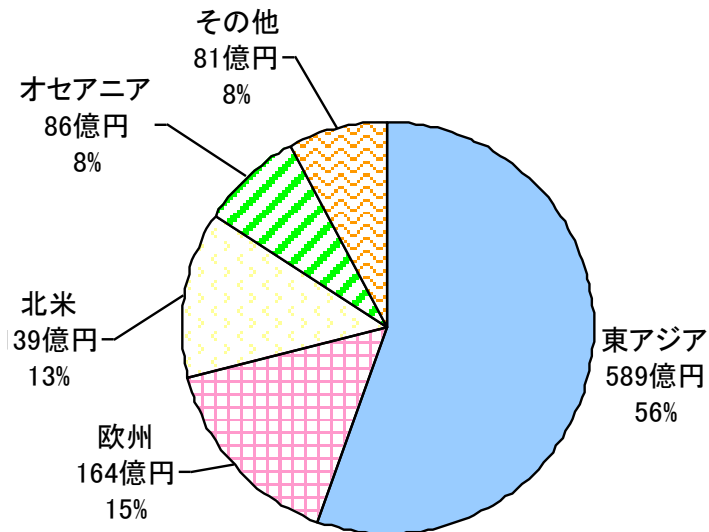
(億円)



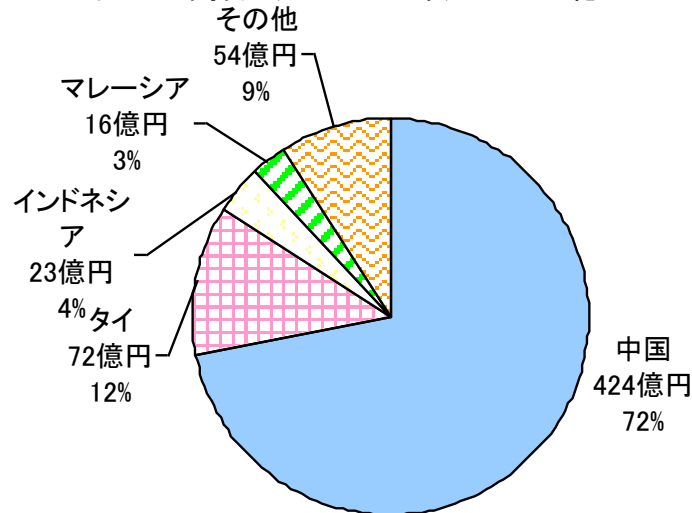
出典：福井県「福井県の貿易」

県内企業の輸入状況

県内企業の地域（国）別輸入額
および割合（2007年）1,059億円



県内企業のアジア地域への国別輸入額
および割合（2007年）589億円



品目別輸入額（2007年）

品目	項目	輸入額 (億円)	構成比 (%)	主な輸入相手国および輸入額(億円)
化学品		264	24.9	①中国182 ②カナダ57 ③ドイツ7 ④韓国5 ⑤米国4
卑金属		367	34.7	①ロシア88 ②オーストラリア86 ③南アフリカ79
機 械(輸送機械除く)		157	14.8	①タイ59 ②中国44 ③ドイツ16
織 維		115	10.9	①中国86 ②インドネシア18 ③ドイツ7
眼 鏡		46	4.4	①中国36 ②香港4 ③ドイツ3
(小 計)		931	89.7	※アジアの国・地域は、中国、香港、マカオ、台湾、韓国、シンガポール、タイ、フィリピン、インドネシア、マレーシア、ベトナム、インドとする。
その他		128	10.3	
合計額		1,059	100	

県内企業の海外拠点数の推移

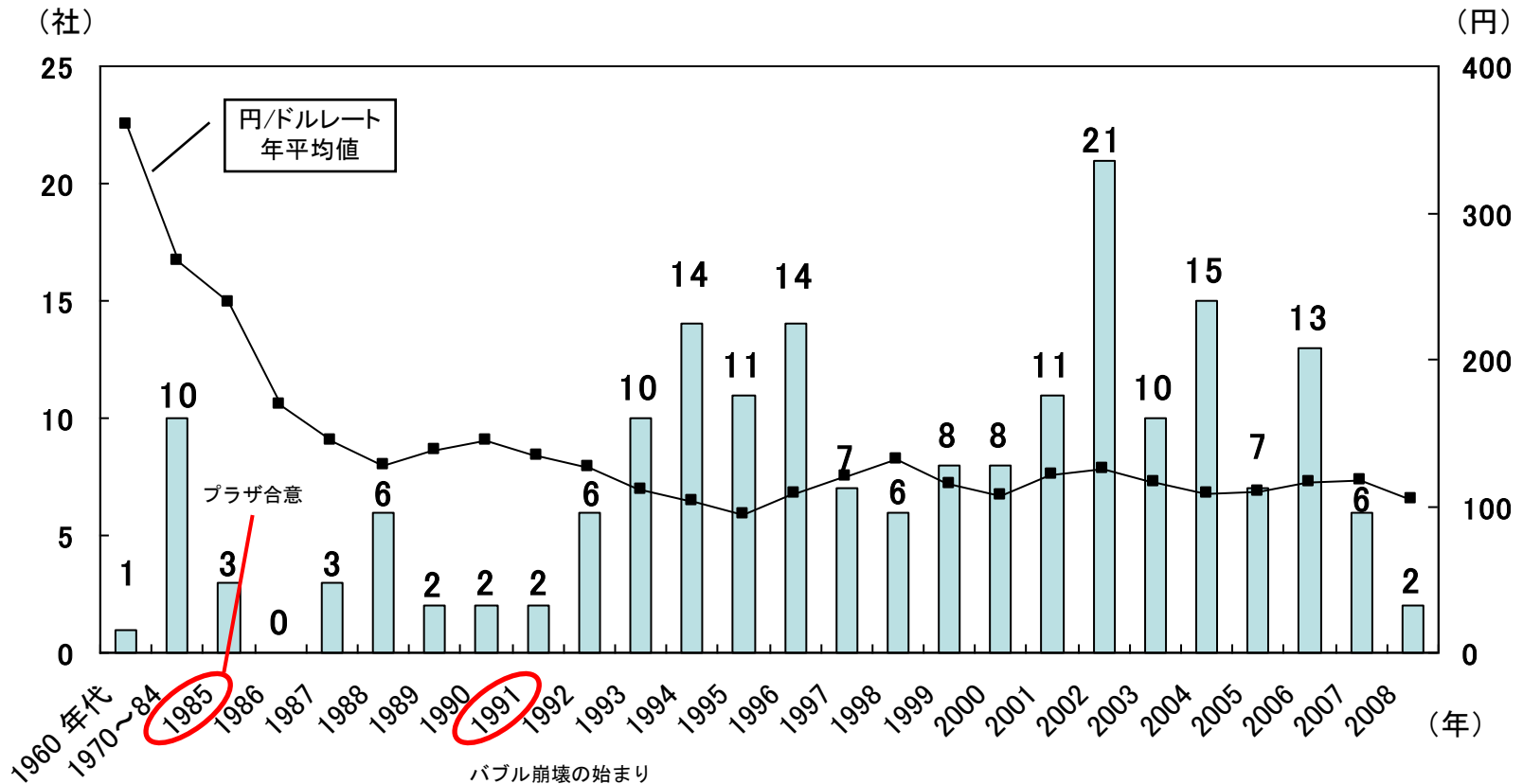
県内企業の海外拠点の80%は、東アジアが占めている。
東アジアの中でも、中国への進出拠点数が全体の60%を占めている。

	2002	2005	2008	増減 (2005→2008)	割合 (2008)
東アジア	143	171	211	40	80.2%
中国（香港含む）	105	126	158	32	60.1%
タイ	15	18	19	1	7.2%
韓国	8	7	7	1	3.0%
アメリカ	25	25	25	0	9.5%
欧州	17	16	20	4	7.6%
ロシア	1	1	2	1	0.8%
その他	7	7	7	0	2.7%
計	192	219	263	44	100.0%

出典：2008 福井商工会議所アンケート

県内企業の進出時期別 東アジア進出状況

県内企業の東アジア進出は、プラザ合意（1985年）以降、徐々に増加。
 1990年代中頃の超円高を背景に概ね10社前後の水準で推移。
 2002年には過去最高の21社が進出。その後は増減を繰り返し、2007年には一桁台に。



出典：2008 福井商工会議所アンケート ※進出時期の不明を除く
 円/ドルレート年平均値は財務省統計より

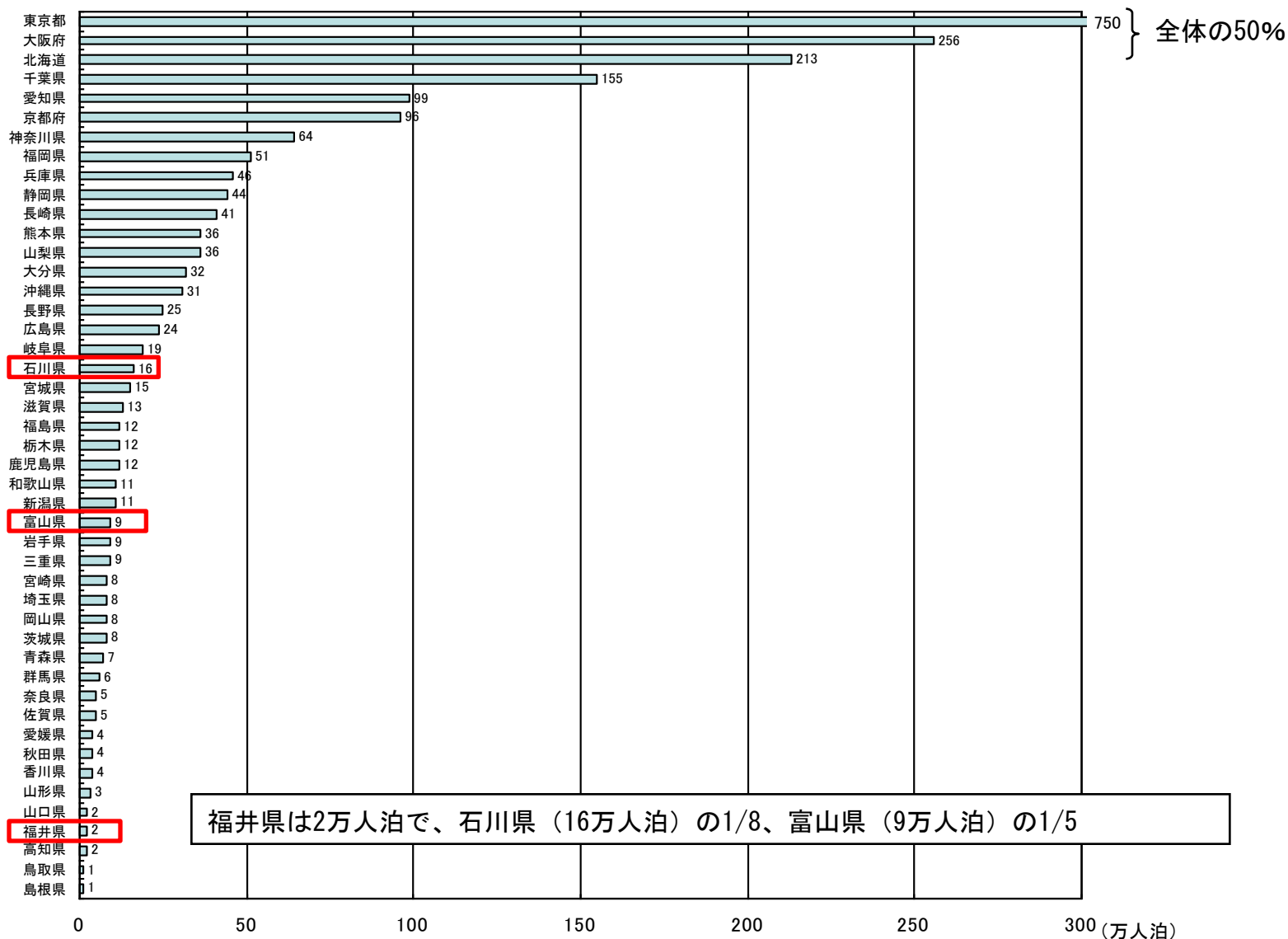
県内企業の業種別 東アジア進出状況

東アジアへの進出企業を業種別にみると、「繊維」関連企業が62地域で最も多い。

業 種	地域数（地域）	構成比（％）
織 維	62	28.5
機械・金属	35	16.6
眼鏡、精密機械	34	16.1
化 学	27	12.8
電子機器	22	10.4
農業漁業・食品	6	2.8
プラスチック	4	1.9
紙、木材、家具	3	1.4
情報・ソフトウェア	2	0.9
建 設	1	0.5
その他	15	7.2
計	211	100

出典：2008 福井商工会議所アンケート

都道府県別外国人延べ宿泊者数(2008年)



出典：観光庁「平成21年版 観光白書」

国別県内留学生数（東アジア）

県内の東アジアからの留学生は323人で、中国が214人と全体の66%を占めている。

(人)

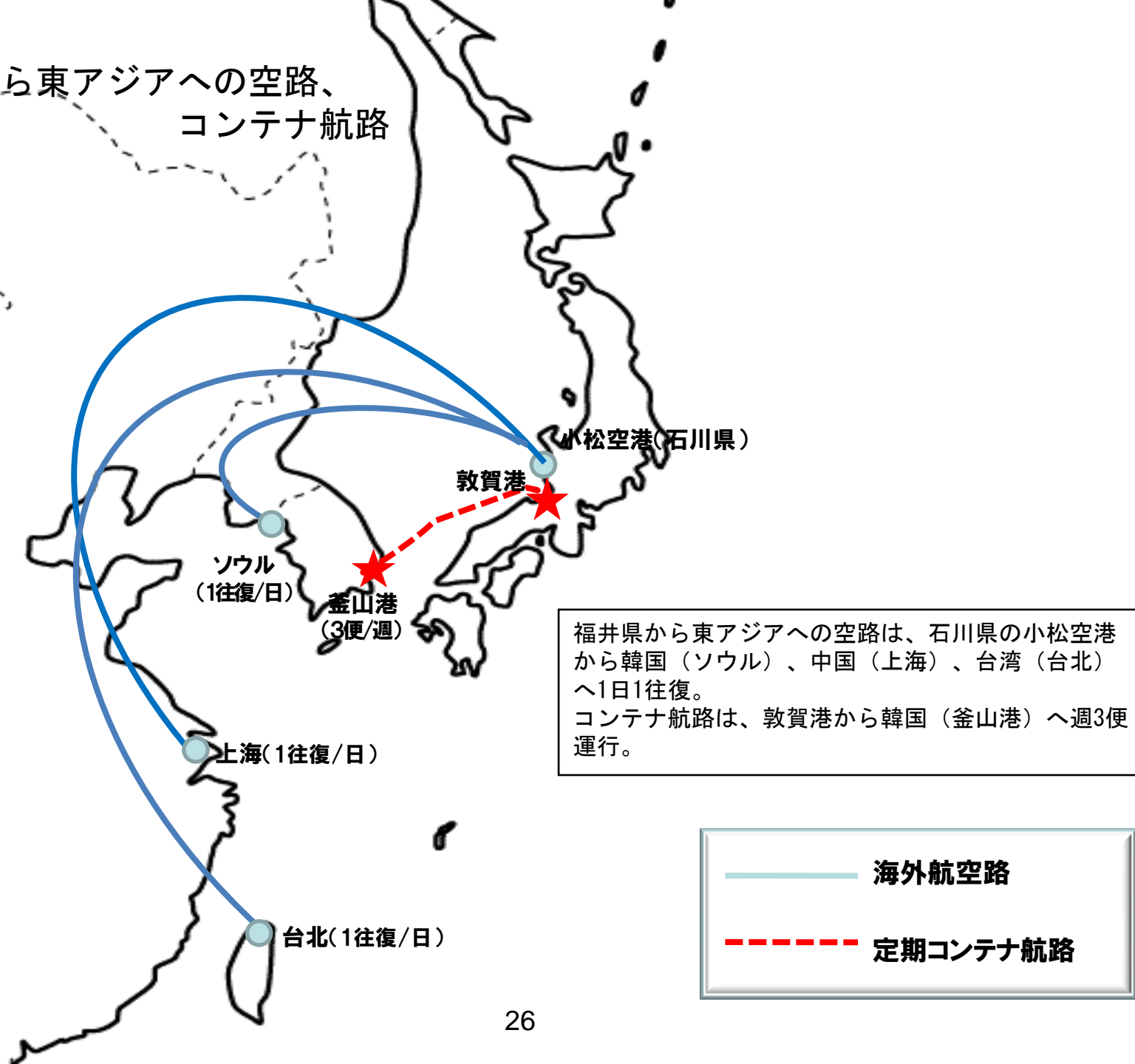
区分	福井大学	福井県立 大学	福井工業 大学	仁愛大学	敦賀短期 大学	福井工業 高等専門 学校	専門学校 アビエー ビジ叔 カレッジ	大原情報 ビジ叔 専門学校 福井校	合計
中国	148	38	2		2		21	3	214
マレーシア	39	1				4			44
大韓民国	4	7			1		1		13
バングラデシュ	8					1			9
インドネシア	6					1			7
タイ	3								3
モンゴル	1		1						2
台湾	3								3
フィリピン	4				2				6
ベトナム	9						4		13
カンボジア	1					1			2
ミャンマー	2								2
インド	2								2
パキスタン	1								1
ラオス	1					1			2
計	232	46	3	0	5	8	26	3	323

※若狭湾エネルギー研究センターへの留学生
2008年：1名（ベトナム）、2009年：1名（スリランカ）

2008年10月1日現在

出典：福井県留学生交流推進協議会調べ
福井県国際・マーケット戦略課「福井県の国際化の現状」

福井県から東アジアへの空路、 コンテナ航路



福井県から東アジアへの空路は、石川県の小松空港から韓国（ソウル）、中国（上海）、台湾（台北）へ1日1往復。
コンテナ航路は、敦賀港から韓国（釜山港）へ週3便運行。

福井県の交通インフラ整備（１）

北陸新幹線



福井県の交通インフラ整備（2）

中部縦貫自動車道、舞鶴若狭自動車道

福井県高規格幹線道路概要図



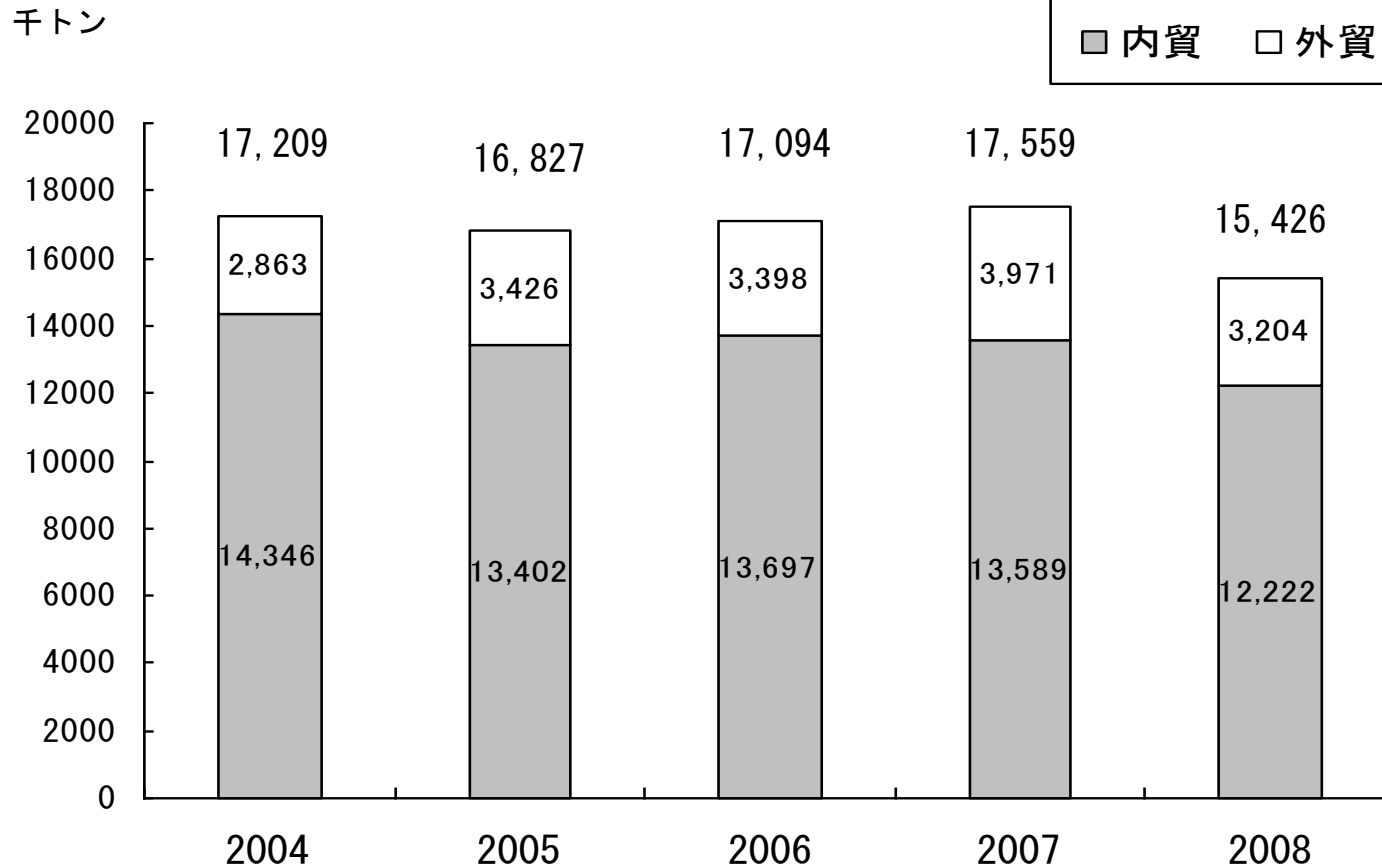
中部縦貫自動車道は、長野県松本市を起点に飛騨、美濃、福井県嶺北地方の山岳地帯を通り、福井市に至る延長約160kmの一般国道の自動車専用道路。2012年度に勝山IC・大野IC間（7.8km）が開通する予定。

舞鶴若狭自動車道は、中国自動車道の吉川ジャンクションから分岐し、福知山市、舞鶴市、小浜市を経て敦賀市の北陸自動車道に至る、延長約160kmの高速自動車国道。2014年度に小浜IC・敦賀JCT間が開通する予定。

敦賀港取扱貨物量の推移

敦賀港の取扱貨物量は、近年1,700万トンで推移。

しかし、2008年度の取扱貨物量は1,542万トンで、前年に比べ約213万トン（約13%）減少。



出典：福井県企業誘致課調べ

敦賀港取扱貨物内訳（2008）

敦賀港の取扱貨物の内訳は、フェリー、RORO船による内貿貨物が多く、これらで全体の約70%を占める。その他の品目では石炭が約2割を占めている。

取扱貨物量（2008） 15,426千トン

		貨物量（千トン）			貨物量（千トン）
内 貿		12,222	外 貿		3,204
	フェリー	8,846		石 炭	2,856
	RORO船	1,908		その他	348
	その他	1,468			

※日本海側港湾の貨物取扱量（2008）

港湾名	内貿		外貿		合計 (千t)
	(千t)	割合 (%)	(千t)	割合 (%)	
秋田港	5,679	71.6%	2,249	28.4%	7,928
新潟港	15,617	48.7%	16,454	51.3%	32,071
直江津港	1,613	65.5%	850	34.5%	2,463
伏木富山港	2,878	25.1%	8,606	74.9%	11,484
金沢港	2,537	77.9%	719	22.1%	3,256
舞鶴港	6,388	67.0%	3,140	33.0%	9,528
境港	1,957	47.6%	2,153	52.4%	4,110

敦賀港コンテナ取扱実績

敦賀港のコンテナ貨物量は、中国航路の休止等の影響で2002年の14,417TEUをピークに減少。2008年は6,000TEUと、前年比8%の増加。

TEU

16,000

14,000

12,000

10,000

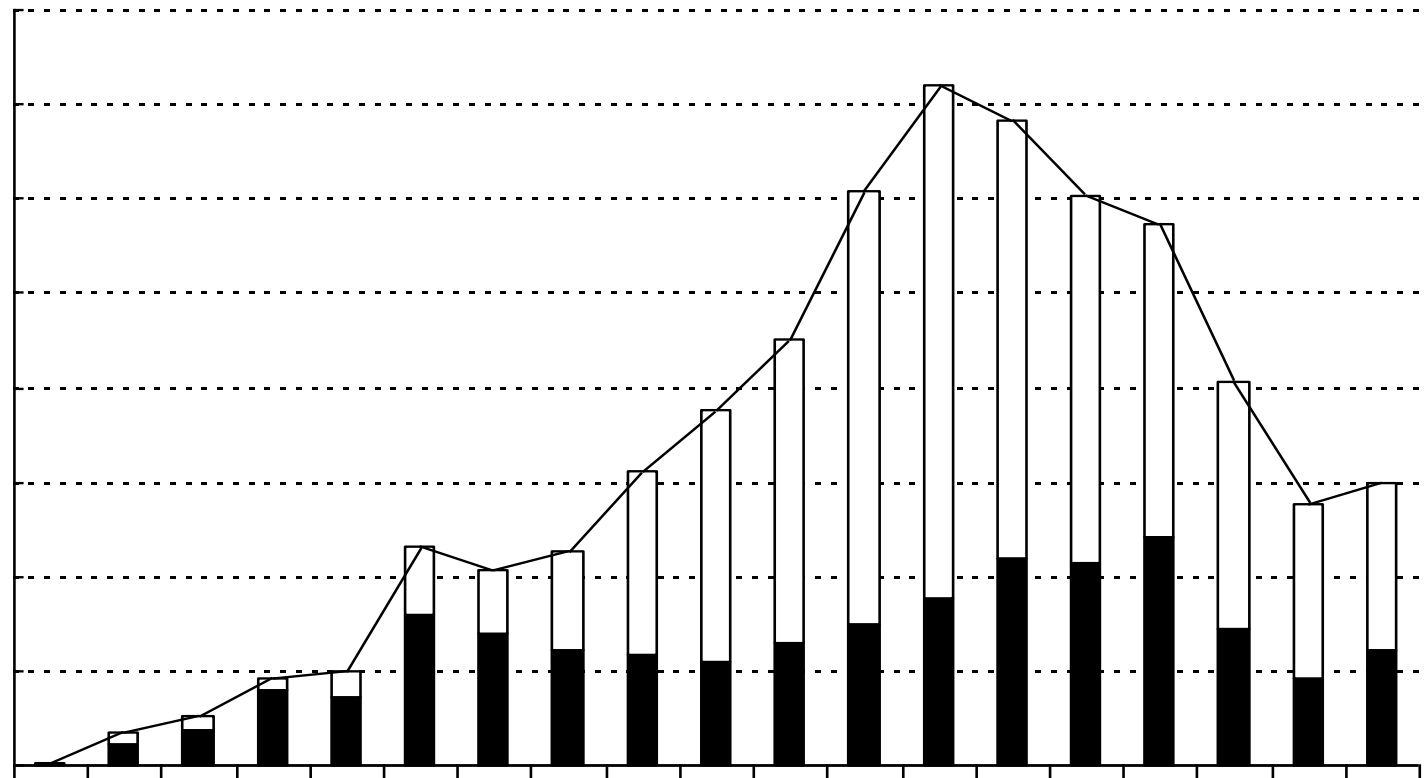
8,000

6,000

4,000

2,000

0



TEU

出典：（社）敦賀港貿易振興会まとめ

福井港の品目別外航船入港隻数

単位：隻/トン

2005年4月の関税法上の開港指定を受け、06年の実績は倍増。08年は218隻と07年に続き2年連続で200隻を突破。

	品目	2004	2005	2006		2007		2008	
		隻数	隻数	隻数	貨物量	隻数	貨物量	隻数	貨物量
輸 入	アルミ	45	36	49	70,183	43	62,235	35	64,482
	石炭	5	7	6	73,501	6	86,105	9	78,841
	肥料	1	1	3	2,257	1	2,510	1	1,506
	製材	0	0	4	2,819	34	25,127	14	10,239
	建屋材	0	0	2	863	0	0	0	0
	埋立て石	2	0	0	0	0	0	0	0
	澱粉	0	0	0	0	0	0	6	5,999
	風車資材	0	0	0	0	0	0	0	0
輸 出	金属くず	8	22	28	58,978	25	53,228	22	43,325
	中古車	17	32	103	25,617	114	31,428	131	41,091
	重機	0	1	0	0	0	0	0	0
そ の 他	イベント	0	2	0	0	1	-	0	0
	合計	78	101	195	234,218	224	260,633	218	245,483

※品目別入港隻数は、延べ数（同一船により複数の品物が輸出入される場合がある）出典：福井県企業誘致課調べ

東アジアの原子力発電の現状

東アジアで建設中の原子力発電所は25基。世界全体で建設中（52基）の約半数を占めている。
また、計画中的のものについても32基と、全体（66基）の約半数を占めている。

2009年1月1日現在

国・地域	運転中	建設中	計画中	合計(基)
韓国	20	6	2	28
中国	11	13	13	37
台湾	6	2		8
インドネシア			4	4
ベトナム			1	1
タイ			2020年までの 導入を計画	
日本	53	4	12	69
合計	90	25	32	147
※ () 内は世界計	(432)	(52)	(66)	(550)

出典：（社）日本原子力産業協会「世界の原子力発電開発の動向2009年版」